

「平成26年4月の診療報酬改定と CAD/CAM冠保険導入について」



平成 26 年 4 月より診療報酬改定がおこなわれました。ご存知の通り、その中には CAD/CAM 冠が一部部位にて保険導入される運びとなりました。厚生労働省でも複数回疑義解釈がでるなど、情報が日々更新されている状況ですが、今回は現時点でわかっている範囲になります。一般社団法人 東京都歯科技工士会として、歯科技工に係わる部分の改定全般について説明をさせていただければと存じます。

「CAD/CAM の変遷と将来性」

前述の通り、この度、CAD/CAM 冠が保険適用になり我々の仕事の内容が大きく変化する事は避けられません。このことを踏まえて、今回の保険適用の CAD/CAM 冠の施設基準等の解説と、今日までの CAD/CAM の流れとこれからの展望をお話しさせていただきます。私自身も CAD/CAM に関しましては、2005 年、2007 年と IDS ケルンデンタルショーに参加し積極的に対応してまいりました。それ以前からも、国産メーカーの機械や海外の機械などもありましたが、材料や機械のパフォーマンスの問題もあり、小規模ラボには現実的なものではありませんでした。私的には、2005 年が日本の CAD/CAM 元年のような気がします。韓国、台湾も積極的に CAD/CAM には対応しているようで、この辺のお話もさせていただきます。